

平成 30 年度
筑波大学基金
活動報告及び実績報告

国立大学法人筑波大学
事業開発推進室

平成 30 年度活動報告

■活動状況

筑波大学基金設置 9 年目となる平成 30 年度は、令和 5 年度の開学 50 周年を見据え、「創基 151 年筑波大学 50 周年記念基金」を平成 30 年 7 月から学内教職員に対して基金のための給与控除を開始、平成 31 年 2 月には、「創基 151 年筑波大学 50 周年記念基金推進委員会」を開催し、本格的に基金活動を開始した。

筑波大学基金の附帯事業としては、平成 27 年度開始の「筑波大学カード事業」、「筑波大学オリジナルワイン事業」、平成 28 年度開始の「筑波大学オリジナルコーヒー事業」、平成 29 年開始の「アンダーアーマーショップ事業」を引き続き実施した。

また、基金以外の事業として、平成 28 年度開始の「スーツ事業」に加え、平成 30 年度は、学生・教職員の福利厚生、利便性の向上のため、平成 30 年 10 月にサクラテラス（ショッピングプラザ）をオープン、大河ドラマ「いだてん」の放映を記念して、平成 30 年 12 月に金栗四三の出生の地である、熊本県、玉名市、和水町及び南関町とスポーツ等を通じた教育並びに文化の振興や地域産業の活性化と地域の発展に向けた連携協定を締結、平成 31 年 1 月から、「嘉納治五郎・金栗四三特別展」開催している。

寄附者の方への感謝の意を表するため、一般寄附者、高額寄附者に対して、感謝の集いを開催するとともに、50 周年基金、新規開発事業の更なる推進を図るため、平成 31 年 1 月からファンドレイザー 3 人を民間から採用した。

■贈呈品制度「TSUKUBA FUTURESHP PREMIUM」

安定的かつ恒常的な募金活動することを目的に、ふるさと納税大学版とも言える贈呈品制度「TSUKUBA FUTURESHP PREMIUM」を平成 27 年 9 月にスタートした。

この制度は、年度内に 3 万円以上をご寄附いただいた個人寄附者、10 万円以上をご寄附いただいた法人寄附者に対して、翌年度秋季に本学つくば機能植物イノベーション研究センター（T-PIRC）農場の生産品や本学関連商品を贈呈するものである。

○制度対象件数 平成 30 年度寄附分に対し 106 件（内、個人 88 件、法人 18 件）

なお、「TSUKUBA FUTURESHP PREMIUM」については、創基 151 年筑波大学 50 周年記念基金の募集期間中のため、次年度よりいったん休止することとし、令和元年度寄附分からは、創基 151 年筑波大学 50 周年記念基金への寄附者向けに、新たな贈呈品制度を実施することとする。

○平成 30 年度贈呈品一覧

	個人	法人
年度内 3 万円以上	・米 5kg ・サツマイモ 1kg ・ボルドーワイン 1本	

年度内 5 万円以上	・米 10kg ・サツマイモ 2kg ・ボルドーワイン 2本	
年度内 10 万円以上	・米 20kg ・アリアンサエステートコーヒー1箱	・サツマイモ 2kg ・ボルドーワイン 3本
年度内 30 万円以上	・米 30kg ・アリアンサエステートコーヒー1箱	・サツマイモ 3kg ・ボルドーワイン 4本
年度内 50 万円以上	・米 30kg ・アリアンサエステートコーヒー2箱	・サツマイモ 3kg ・ボルドーワイン 6本

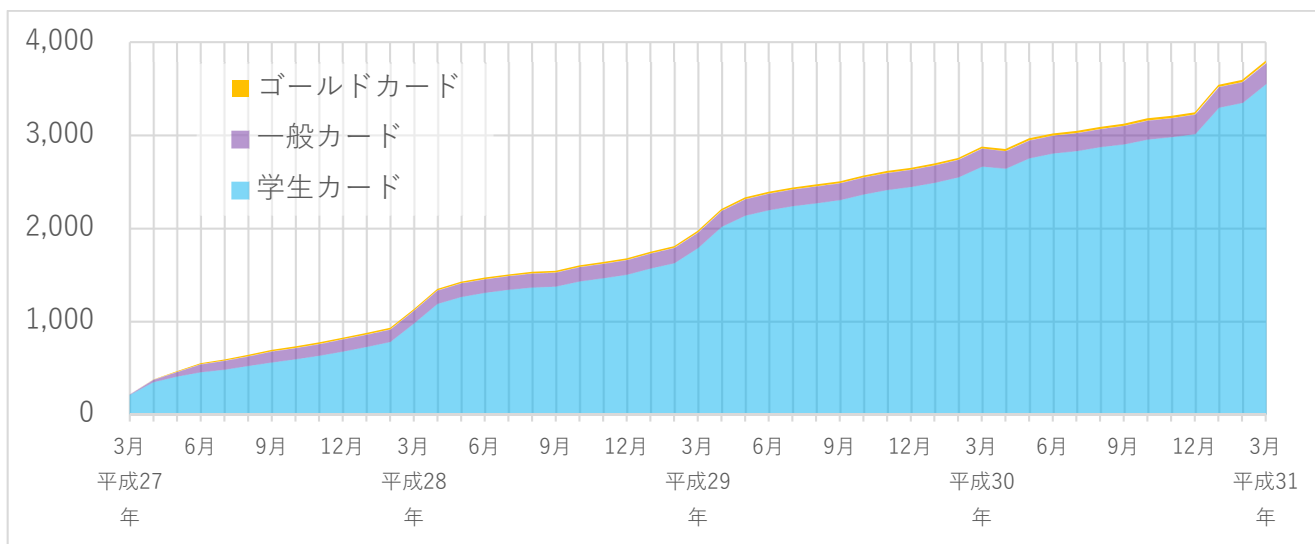
■筑波大学カード事業

三井住友カード株式会社と提携契約を締結の上、平成 27 年度より、大学関係者を入会対象とするクレジットカード機能付き大学カード（筑波大学校友会カード）事業を開始し、平成 29 年 1 月、「筑波大学校友会」が学外に設立されたことに伴い、「筑波大学カード」に改称した。現在、5 年間でカードを 4,000 枚発行することを目標としており、期間内に目標数を達成できる見込みである。

本カードの最大の特徴は、大学近隣の商店や飲食店、全国展開の大型店、ホテル等約 200 の店舗・施設においてカードの提示により会員特典を受けられることである。

なお、三井住友カード株式会社からは、本カードの入会数に応じたあっせん手数料、会員のカード利用額に応じた、取扱手数料を定期的に筑波大学基金にご寄附いただくこととしている。

○筑波大学カード累計受付件数推移



○累計受付件数 平成 31 年 3 月末現在 3,800 件

○寄附額

平成 30 年度内の筑波大学カード発行数に基づくあっせん手数料 386,640 円

平成 30 年度内の筑波大学カード利用額に基づく取扱手数料 2,080,036 円

■筑波大学オリジナルポルドーワイン事業

ポルドー大学との Campus-in-Campus (CiC) 協定締結を記念し、平成 27 年度より、同大学の関連シャトーで醸造しているワインの輸入販売を開始した。平成 30 年度は、赤ワイン 1,344 本と白ワイン 672 本を輸入した。

なお、販売会社である株式会社カクヤスには、売り上げの一部を筑波大学基金にご寄附いただくこととしている。

○販売商品

商品名	販売本数	販売価格
シャトー・クーアン・ルージュ 2015 (ファーストラベル赤ワイン)	1,344	3,980 円 (税込)
シャトー・クーアン・ブラン 2014 (ファーストラベル白ワイン)	672	4,780 円 (税込)

○売上額 8,561,280 円 (税込)

○販売会社 株式会社カクヤス

所在地：東京北区豊島 2-3-1

代表取締役社長：佐藤順一 (本学第一学群社会学類：1981 年卒業)

○寄附予定額 平成 30 年度売上分に対し 1,000,000 円

■筑波大学オリジナルコーヒー事業

グローバル戦略及び世界展開力の一環として、サンパウロオフィスを開設するとともに、サンパウロ大学、サンタ・クルス病院と協定を締結した。その記念として、サンタ・クルス病院の理事長が所有する農園のコーヒーを輸入し、茨城県に本社のある株式会社サザコーヒーと提携し、平成 28 年度より販売を開始した。

なお、株式会社サザコーヒーには、売り上げの一部を筑波大学基金にご寄附いただくこととしている。

○販売商品

商品名	販売価格
筑波大学アリアンサエステートコーヒー 豆 200g	1,300 円 (税込)
筑波大学アリアンサエステートコーヒー カップオン (9 枚入)	1,300 円 (税込)
筑波大学アリアンサエステートコーヒー カップオン (5 枚入)	900 円 (税込)

○売上額 7,226,450 円 (税込) (平成 30 年 4 月～平成 31 年 3 月)

○販売会社 株式会社サザコーヒー

所在地：茨城県ひたちなか市共栄町 8-18 (本社)

代表取締役会長：鈴木誉志男

○寄附額 平成 30 年度売上分に対し 1,445,290 円 (販売価格の 20%)

■株式会社ドームとの連携事業

平成 28 年度に、アンダーアーマーの日本総代理店である株式会社ドームと包括的連携協定を締結した。この協定は、スポーツを通じて社会、地域、学生生活をより豊かにすることを大義とし、また、それぞれの資源、研究成果等を活用することを通じてスポーツの産業化、国民の健康増進及び未来を支える人材の育成に資することを目的としている。

株式会社ドームには、本学体育会各部の試合用ユニフォーム等を無償で提供いただいている。

○提携会社 株式会社ドーム

所在地：東京都江東区有明 1-3-33

取締役会長 代表取締役 CEO：安田秀一

○寄附額 平成 30 年度内に現物寄附として 試合用ユニフォーム等 45,021,184 円

また、平成 29 年 4 月には、大学会館別館にアンダーアーマーショップがオープンし、本学が作成したスポーツエンブレムを使用したライセンス商品が取り扱われている。

株式会社ドームには、ライセンス商品の売り上げに応じ、本学に商標使用料を納入いただくこととしている。

○商標使用料 平成 30 年度分として 367,171 円

[基金以外の事業]

■スーツ事業

平成 28 年度から学生・教職員等の福利厚生のため、学生の入学時や就職活動等で必要となるスーツ等の割引販売を紳士服大手企業 4 社（AOKI、コナカ、洋服の青山、はるやま）と提携した。本事業は、割引販売にかかる広報に大学が協力することにより、提携各社より商品販売価格の 5%を手数料として納入いただくもので、受入金は学生支援等に充当する予定している。

○手数料額 平成 30 年度売上分に対し 4,484,649 円

■サクラテラス（ショッピングプラザ）事業

学生及び教職員等の福利厚生、利便性の向上に資することを目的として、筑波キャンパス南地区内にカスミ、サザコーヒーの 2 店舗を核とするショッピングプラザを、平成 30 年 10 月にオープンさせた。

なお、ショッピングプラザの愛称は学内で公募し、「SAKURA TERRASSE（サクラテラス）」に決定した。

- 契約相手方 鹿島リース株式会社
所在地：東京都港区元赤坂 1-1-5 富士陰ビル 6 階
代表取締役社長：稲葉仁
- 事業内容 (1) スーパーマーケット 株式会社カスミ (999.40 m²)
(2) カフェ 株式会社サザコーヒー (197.54 m²)
- 事業期間 平成 30 年 4 月 4 日～平成 50 年 9 月 30 日

■地域との関係構築

「学長を囲む会」のメンバー拡大に努め、研究成果や大学に関連する情報を発信し、地域との交流を深めた。参加者も増加し、毎回 150 名を超える規模となった。

また今年度は、初めて学外の施設（つくば国際会議場）で開催し、200 名を超える会員を迎えることができた。

- 会員数 282 企業／団体（平成 31 年 3 月現在）

開催日	講演内容
平成 30 年 5 月 21 日（月）	体育系 小井土 正亮 助教（蹴球部 監督） 「ロシアワールドカップの楽しみ方 ～日本代表は勝てるのか？～」
平成 30 年 8 月 27 日（月）	システム情報系 櫻井 鉄也 教授（人工知能科学センター長） 「デジタルシフトと人工知能技術」
平成 30 年 11 月 29 日（木）	体育系 山口 香 教授 「日本スポーツの課題と期待－2020 東京を見据えて－」 ※つくば国際会議場での開催

■筑波大学交流広場事業の推進

筑波大学交流広場（旧称：筑波大学校友会）は、本学と卒業生・修了生、在学生、元教職員、教職員、課外活動団体及び各同窓会といった本学関係者との連携強化（交流促進、相互支援、最新情報共有化等）を目的として、平成 24 年 4 月から運用している SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）である。平成 30 年度については、学生を中心に約 4 千 5 百人に生涯メールアドレスを付与（平成 31 年 3 月末における会員数：約 3 万 2 千人）しており、活用される SNS として、更なるサービスの充実に求められている。

■筑波大学アプリの開発・運用

開学 50 周年に向け、寄附を募る手段の 1 つとして、スマートフォンアプリを介して大学の理念や歴史、そして在学生の活動状況等の様々な情報を発信することにより大学の現状をご理解いただき寄附につなげることを目的とし、開発を進めている。

- 契約相手方 フラー株式会社
所在地：千葉県柏市若柴 178 番地 4 柏の葉キャンパス 148 街区 2 KOIL
代表取締役 CEO：渋谷 修太（本学理工学群社会工学類：2011 年卒業）
- 主な機能 (1) ニュース機能
卒業生をメインターゲットに筑波大学に関する様々なコンテンツを配信。
主に大学HP上で公開されている情報等を配信予定。
- (2) 寄附機能
- リリース 令和元年 10 月を予定

■嘉納治五郎・金栗四三特別展の開催

NHK 大河ドラマ「いだてん～東京オリムピック噺(ばなし)～」の放映に合わせ、平成 31 年 1 月より体育ギャラリーにて「嘉納治五郎・金栗四三特別展」を開催している。

大河ドラマの前半部分は、本学の前身である東京高等師範学校の校長を務めた嘉納治五郎と、師範学校の卒業生であり、日本人初の五輪マラソンランナーでもある金栗四三を中心に展開されており、脚本のスポーツ考証を、本学体育系所属の真田久教授と大林太郎助教が担当している。このことから、この特別展の開催は、東京 2020 オリンピック・パラリンピック開催に先駆け、本学の歴史やオリンピック等を幅広く紹介し、本学のブランディングが図れること、大河ドラマやオリンピック関連の展示等により東京 2020 オリンピックの機運が盛り上がり、地域連携や地域経済の活性化に資することが期待される。

なお、この特別展では、金栗四三の練習用足袋や直筆の書、嘉納治五郎の体育・スポーツの普及と青少年教育に関する功績等について展示している他、AR(拡張現実)を駆使した記念写真の撮影をすることができる。

- 来場者数 1,362 名（平成 31 年 3 月現在）
- 入場料収入 375,000 円（平成 31 年 3 月現在）

さらに、金栗四三とゆかりの深い玉名市、和水町、南関町及び熊本県と本学が、金栗氏の功績を活かし、スポーツ等を通じた教育並びに文化の振興や地域産業の活性化に向けた連携協定を、平成 30 年 12 月に締結した。

■寄附者への感謝の集いの開催

寄附者への感謝の意を表するとともに、寄附者と大学との交流を促進し、繋がりを強化する機会として、寄附者への感謝の集い「TSUKUBA FUTURESHP CREW'S MEETING」を開催した。

一般の寄附者向けとして、銘板に記載されている寄附者（個人 10 万円以上、法人 50 万円以上）を対象とし、平成 30 年 12 月に第 1 回を開催した。対象者約 500 名のところ、67 名の寄附者に参加いただき、会では学長から高額寄附者への表彰や基金の活動報告、講演会を行い、懇親会で寄附者との親睦を深めた。

また高額寄附者向けとして、過去 5 年間で 500 万円以上または附帯事業で協力いただいている寄附者を対象とし、平成 31 年 1 月に第 1 回の「TSUKUBA FUTURESHP CREW'S MEETING for SPECIAL」

を開催した。12名の対象者全員に参加いただき、学内の施設見学および懇親会で親睦を深め、更なるご支援をお願いした。

■卒業生との連携：茗溪会

明治15年4月29日 当時の東京師範学校卒業生によって設立され、平成24年4月から一般社団法人茗溪会として活動しており、本学の開学当初から、多くの支援をいただいている。

また、平成30年4月に「茗溪・筑波産業人倶楽部」を発足させ、本学卒業生の産業人を中心したネットワークの構築と本学学生に対する更なる支援を開始した。

■卒業生との連携：筑波みらいの会

「筑波みらいの会」とは、平成24年度に立ち上げられた「筑波大学出身経営者の会（仮称）」が、平成25年5月の総会において正式に発足したものである。平成30年度も5月に総会を開催し、11月開催のホームカミングデーへの支援をいただいた。

同会は設立意義として次の3点を掲げている。

- (1) 会員同士が連携・交流すること
- (2) 会員から大学及び学生に対して貢献・支援・連携すること
- (3) 大学の成果・情報を会員に提供すること

○会員数 45名（平成31年3月現在）

■卒業生との連携：筑波大学校友会

平成29年1月21日に設立総会が開催され、学外と同窓会組織として筑波大学校友会（会長：江崎玲於奈）が発足した。平成30年2月に第1回目の理事会を開催し、ホームカミングデー、卒業生への支援をいただいた。会員は主に卒業生・修了生、在学学生、教職員からなり、実施事業については、次の3点を掲げている。

- (1) 会員相互の交流と親睦に寄与する事業
- (2) 筑波大学との連携及び協力を推進する事業
- (3) その他本会の目的を達成するために必要な事業

■海外卒業生との連携

現在、13の国と地域に同窓会組織があり、約2,000名の会員いる。毎年1回、つくばで連絡会を開催して、連携を深めている。平成30年度には、学長、副学長とともに台湾に出向き台湾校友会の総会において、「創基151年筑波大学50周年記念基金」について依頼した。

[その他大学の取り組み]

■READYFOR 株式会社とのオフィシャル契約締結

クラウドファンディングサイト「Readyfor」を運営する READYFOR 株式会社とクラウドファンディングを活用した寄附獲得のための業務提携を開始した。クラウドファンディング事業者とのオフィシャル契約締結は、国立大学としては初の試みとなる。

○**担当部局** 財務部財務制度企画課

○**実績額** 平成 30 年度内に実施したプログラム（5 件）に対する支援の総額として 28,974,130 円

■エクステンション・プログラム

教育研究成果を社会に還元するため、「エクステンション・プログラム」を実施した。

○**担当部局** 産学連携部産学連携企画課

○**実績額** 平成 30 年度内に実施した講座（19 件）による売上の総額として 53,000,000 円

平成 30 年度支援状況

■寄附状況

平成 30 年度は、一般基金において、昨年度に引き続き用途特定の寄附金の受け入れ額が増大し、用途特定を除く寄附金も増加傾向にある（世界を変えよう基金を除く）。古本募金による寄附については、件数が微減するも金額が微増に転じた。給与控除による寄附については、「創基 151 年筑波大学 50 周年記念基金」の開始に伴い、一般基金からの切り替えがあったことから、一般基金の金額・件数は減少したが、全体としての金額は大幅に増加し、平成 22 年の開始から 2 番目に高い金額であった。

特定基金の獲得寄附金額推移については、全体的に減少傾向にあるが、50 周年記念基金の設置と、附属駒場中・高 70 周年基金の受入金額増大により、全体の金額は前年から増加している。

附属駒場中・高 70 周年基金は、当初の予定より募集期間を延長したことにより、目標金額 1 億円を達成した。

■平成 30 年度実績

集計期間：平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日

○現金による寄附 167,891,658 円 7,445 件

区分	寄附額（単位：円）	件数
一般基金（「世界を変えよう基金」を含む…※1）	51,380,049	3,071
創基 151 年筑波大学 50 周年記念基金	13,900,400	1,350
筑波大学スポーツアソシエーション（TSA）事業	5,496,000	309
附属病院支援事業（40 周年事業基金を含む）	15,344,500	44
紫峰会基金	36,835,650	1,372
留学生後援会基金	804,000	170
附属駒場中・高 70 周年基金	38,929,059	1,096
修学支援事業基金（「今川 FUTURE 基金」を含む…※2）	5,202,000	33
合計	167,891,658	7,445

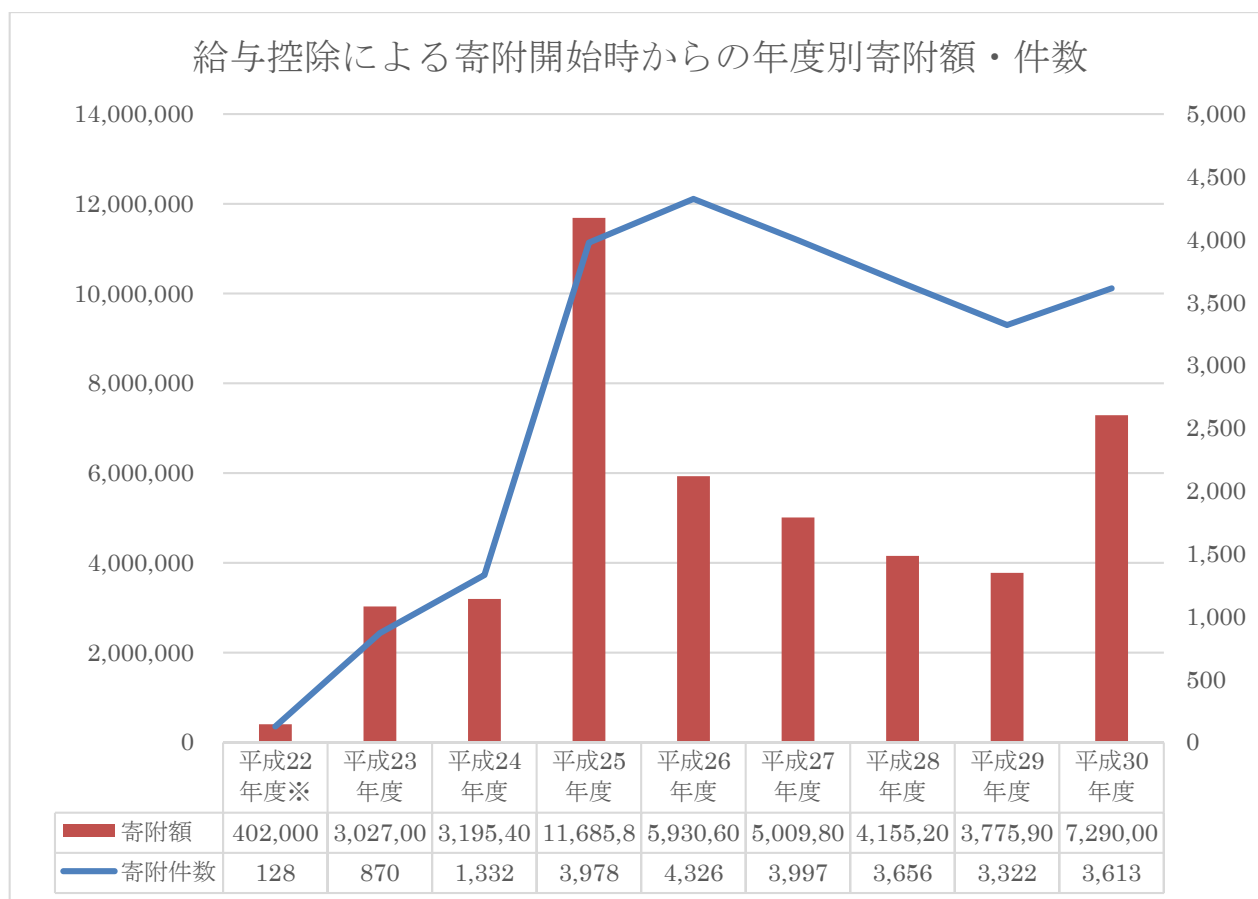
※1…「世界を変えよう基金」は、一般基金への寄附金として受け入れた資金を「筑波大学『世界を変えよう基金』（MDW 基金）運営要項」に基づき運用。

※2…「今川 FUTURE 基金」は、修学支援事業基金への寄附金として受け入れた資金を「筑波大学学生奨学金制度つくばスカラシップに関する要項」に基づき運用。

○教職員向け給与控除による寄附実績

- ・件数 延べ 3,613 件
- ・寄附額 計 7,290,000 円

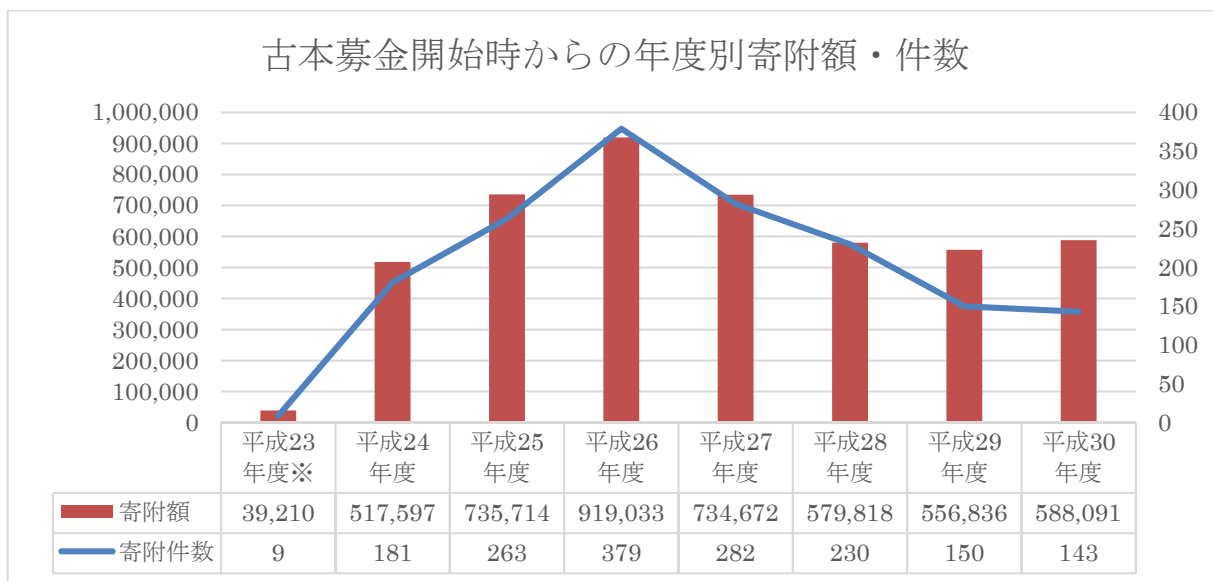
職種	登録者数
役員等	12
教員	143
事務職員・技術職員（非常勤職員を含む）	204
附属病院看護師	8
附属学校教員等	10
合計	377



※平成 23 年 1 月～

○古本募金（一般基金の内訳として）

延べ 143件 寄附額 計 588,091円



※平成24年3月～

○現物寄附 2件 53,391,184円

- ・ショッピングプラザ 屋外外灯設備工事及び保守 8,370,000円
- ・試合用ユニフォーム等 45,021,184円

○預金利息

行名	普通預金利息（単位：円）	前年度比（単位：円）
三井住友銀行 つくば支店	741	356
三菱東京UFJ銀行 本店	284	169
常陽銀行 研究学園都市支店	984	323
筑波銀行 つくば営業部	196	87
合計	2,205	935

■一般基金からの支援状況

前年度の用途特定分を除く一般基金への寄附受入実績額（平成 29 年度 17,369,584 円）を基礎とし、その 70%を上限とした額を次のとおり支援に充当した。

事項	支援実績額（単位：円）
宿舎祭	300,000
学園祭	1,000,000
スポーツ・デー	500,000
つくばスカラシップ	4,300,000
贈呈品制度「TSUKUBA FUTURESHP PREMIUM」	2,063,290
寄附者への感謝の集い開催	982,145
地域活性化を促進する交流イベント開催	1,885,218
50周年記念基金趣意書作成	1,580,040
執行額計	12,610,693

一般基金に受け入れた用途特定の寄附金から、平成 30 年度内に行った支援は次のとおり。

支援事項	支援実績額（単位：円）
教育支援（医学類）	50,000
宿舎祭（用途特定）	200,000
茗溪・学都教育助成基金	1,000,000
国際統合睡眠医科学研究機構	4,309,744
体育会への支援	13,179,689
附属小学校	11,323,000
附属坂戸高等学校	4,000,000
附属視覚特別支援学校	1,849,000
附属桐が丘特別支援学校	1,000,000
附属大塚特別支援学校	70,000
附属久里浜特別支援学校	1,000
執行額計	36,982,433

「世界を変えよう基金」への寄附金から、平成 30 年度内に行った支援は次のとおり。

支援事項	支援実績額（単位：円）
社会ビジネス事業支援	64,111
途上国ボランティア参加支援	1,112,500
大学附属図書館図書購入支援	228,964
国際人材養成プログラム	130,000
執行額計	1,535,575

■開学 40 + 101 周年記念募金事業からの支援状況

開学 40 + 101 周年記念募金（募集期間：平成 25 年 1 月～平成 26 年 9 月）から、40 周年記念募金 5 年計画（平成 26 年度～平成 30 年度）に基づき、短期海外留学支援、附属学校の国際交流事業支援および海外キャンパスの整備・拡充へ次のとおり支援を行った。

（単位：円）

支援事項	当初配分額	執行額	差引
短期海外留学支援… (1)	6,500,000	6,818,422	-318,422
附属学校の国際交流事業支援… (2)	2,500,000	2,500,000	0
海外キャンパスの整備・拡充… (3)	4,600,000	1,331,046	3,268,954
合計	13,600,000	10,649,468	2,950,532

短期海外留学支援、海外キャンパスの整備・拡充について、残金は平成 30 年度に繰り越すものとする。また、短期海外留学支援については、差引額 318,422 円を、平成 29 年度の繰り越し分から支出している。

(1) 短期海外留学支援

平成 30 年度は、6 名の学生に対し、支援を行った。

	所属	派遣先	派遣期間
1	人文・文化学群 比較文化学類 4 年	廈門大学（中国）	2018/9/10 ～ 2019/7/31
2	社会・国際学群 国際総合学類 3 年	タリン大学（エストニア）	2018/8/27 ～ 2019/6/30
3	社会・国際学群 国際総合学類 4 年	ジャワハラル・ネルー大学（インド）	2019/1/6 ～ 2019/12/5
4	理工学群 工学システム学類 3 年	ユタ州立大学（アメリカ）	2019/1/7 ～ 2019/12/13
5	生命環境学群 生物資源学類 2 年	ユタ州立大学（アメリカ）	2018/8/27 ～ 2019/5/1
6	人間総合科学研究科 芸術専攻 2 年	フィレンツェ国立美術学院（イタリア）	2018/10/15 ～ 2019/6/21

(2) 附属学校の国際交流事業支援

平成 30 年度は、各附属学校で実施される次の事業への支援を行った。

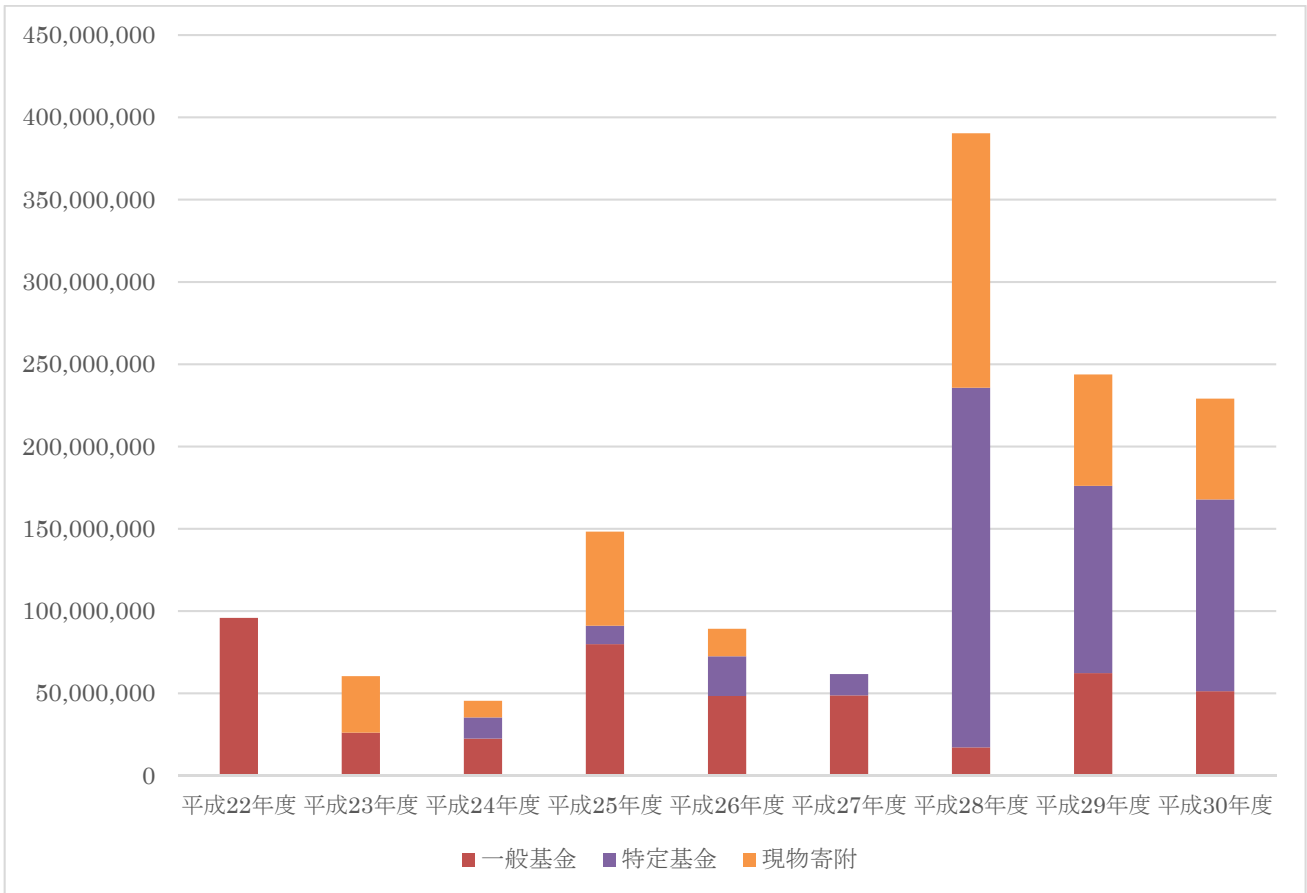
学校名	事業名	執行額内訳
附属駒場中・高等学校	<p>「アジア諸地域の生徒・教員との国際的文化交流と研究交流の促進」</p> <p>平成 30 年 12 月 11～16 日、高等部生徒 16 名、引率教員 3 名を台湾に派遣。現地ではプレゼンテーション等を実施し、帰国後に交流内容の発表会を開催。</p> <p>平成 31 年 3 月 25～29 日、高等部生徒 12 名、引率教員 3 名を韓国に派遣。現地でのプレゼンテーション、釜山国際高校生徒との交流および韓国科学アカデミーの見学を実施。</p>	850,000
筑波大附属高等学校	<p>「新たな交流プログラムの構築と海外連携校との持続的かつより深化した交流の推進」</p> <p>アジア太平洋青少年リーダーズサミット (APYLS)、国際学術シンポジウム (IAS)、プリンスエドワード島大学の研修等に、計 21 名の学生を派遣。</p> <p>シンガポール WHA CHONG 校、北京 景山中学（日本での高校）との相互学校訪問や短期留学を実施。計 18 名を派遣し、シンガポール・北京から計 19 名を招聘。</p>	740,000
附属大塚特別支援学校	<p>「インドネシアの知的障害特別支援学校との授業研究による交流事業」</p> <p>平成 30 年 12 月 14 日、17 日の 2 日間、学内の授業研究会と渉外自動基礎研究会が主催する教材政策のワークショップを開催。インドネシア・チパガンディ特別支援学校 (SPLB-C) の教員 2 名を招聘。</p>	370,000
附属桐が丘特別支援学校	<p>「韓国及び台湾の特別支援学校との国際交流充実事業」</p> <p>中学部生徒 1 名、副校長、引率教諭 1 名の計 3 名が韓国 広州セロム学校を、高等部生徒 1 名、学校長、引率教員 1 名の計 3 名が台湾 和美実験学校及び南投特殊教育学校をそれぞれ訪問。各学校でのプレゼンテーション発表、外国語交流を体験後、市内視察を実施。</p>	540,000

(3) 海外キャンパスの整備・拡充

本学は文部科学省のスーパーグローバル大学創成支援事業に採択され、国際化を積極的に推進しており、本事業の核となる Campus in Campus (CiC) 構想におけるパートナー大学は平成 29 年度までに 7 大学と順調に増加している。平成 30 年度の基金については、パートナー大学の拡大に向け、ドイツ・ボーフム大学のコルネリア・フライターク副学長（教育・国際担当）の招へい旅費及び相沢啓一ボンオフィス所長のドイツ・ボーフム大学等への出張旅費として執行した。これにより、CiC 協定締結に向けての調整が進展し、2019 年 3 月にはボーフム大学との CiC 協定を締結することができた。結果として平成 30 年度は新たに 2 大学と CiC 協定を締結し、現在 CiC パートナー大学は 9 大学となった。なお、フライターク副学長は、TGSW の視察及び本学学長、人文社会系、数理物質系、システム情報系の関係教員及び他の CiC 協定校と、教育連携強化について積極的な議論を行った。併せて、つくば市長と、本学及びボーフム市とつくば市の連携についての打ち合わせも行い、今後、大学の枠を超えた交流の拡大が期待される。もう一件の基金の使途は、CiC パートナー大学である国立台湾大学への、金保副学長（産学連携、基金担当）の出張旅費である。本出張においては、国立台湾大学創設 90 周年式典及び、CiC パートナー大学が集う CiC 国際マネジメント・ミーティングに出席し、連携強化に努めたほか、産学連携及び、同副学長が担当している本学基金事業のさらなる進展に向け、台湾の関係者と協議を行った。

■基金設立時からの年度別寄附額

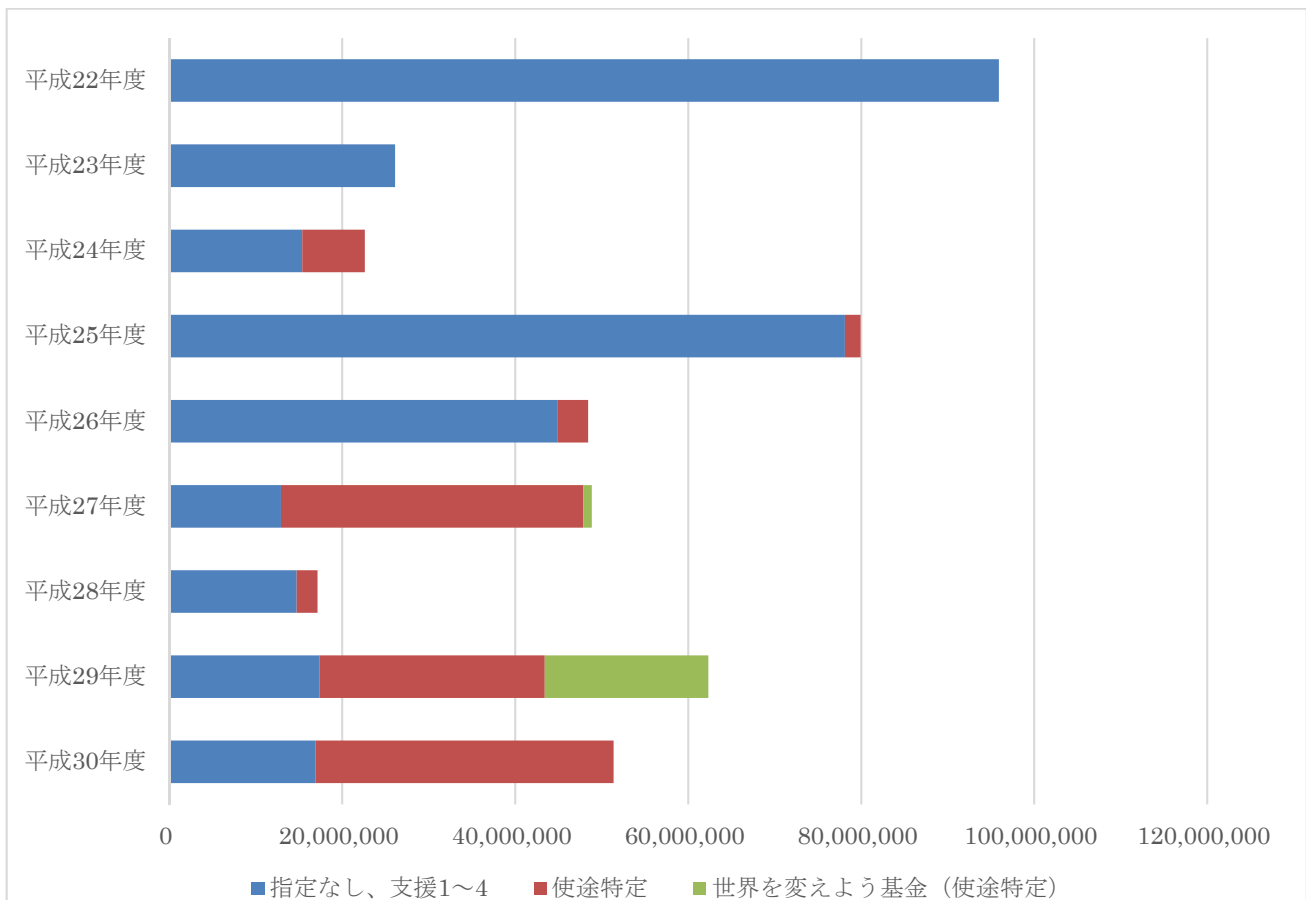
○年度別寄附額（全体）



	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
一般基金	95,905,932	26,127,250	22,624,007	79,921,162	48,438,663
特定基金	—	—	12,817,020	11,253,508	24,130,094
現物寄附	0	34,413,150	10,120,468	57,148,739	16,724,024
合計	95,905,932	60,540,400	45,561,495	148,323,409	89,292,781

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
一般基金	48,865,983	17,205,694	62,322,192	51,380,049
特定基金	12,906,586	218,509,811	113,834,721	116,511,609
現物寄附	0	154,642,652	67,671,300	53,391,184
合計	61,772,569	390,358,157	243,828,213	221,282,842

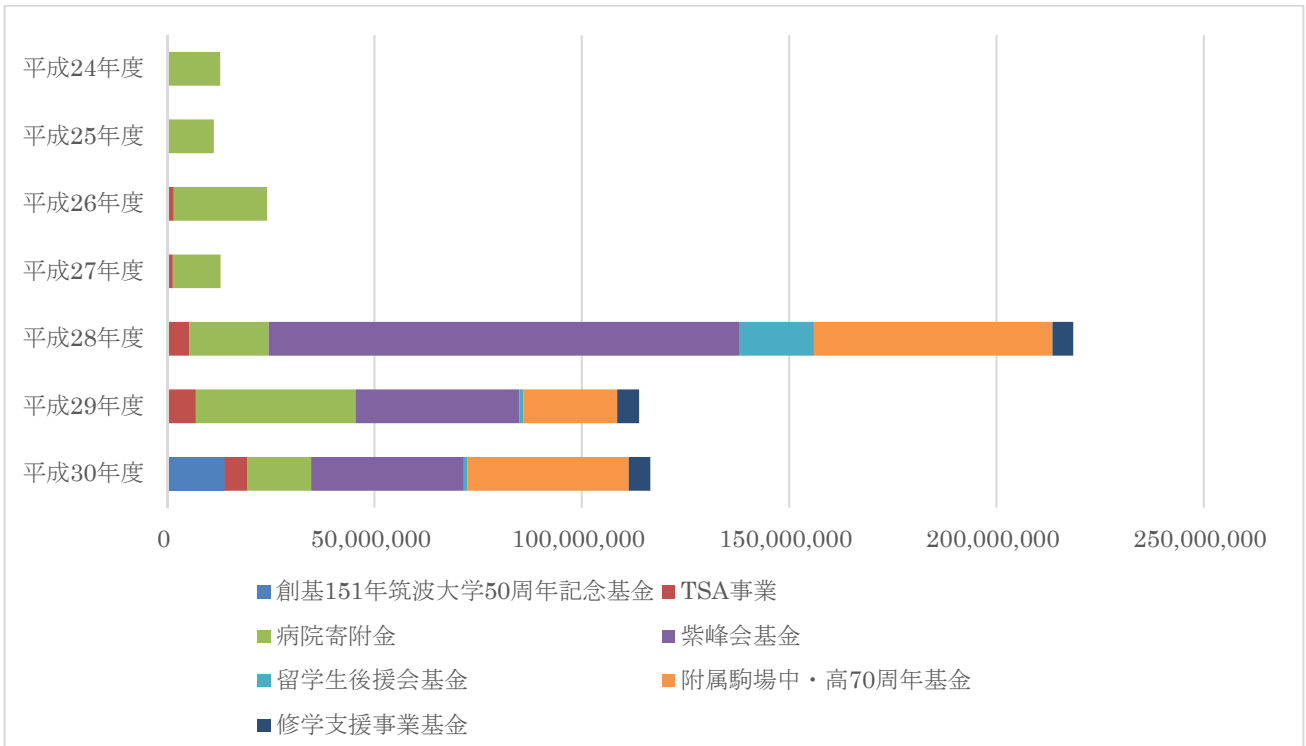
○一般基金年度別寄附額



寄附目的	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
指定なし、支援 1~4	95,905,932	26,127,250	15,383,107	78,106,662	44,862,290
使途特定	—	—	7,240,900	1,814,500	3,576,373
世界を変えよう基金 (使途特定)	—	—	—	—	—
合計	95,905,932	26,127,250	22,624,007	79,921,162	48,438,663

寄附目的	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
指定なし、支援 1~4	12,933,195	14,745,751	17,369,584	16,915,172
使途特定	34,932,788	2,359,943	26,052,608	34,464,877
世界を変えよう基金 (使途特定)	1,000,000	100,000	18,900,000	0
合計	48,865,983	17,205,694	62,322,192	51,380,049

○特定基金年度別寄附額



寄附目的	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
創基 151 年筑波大学 50 周年記念基金	—	—	—	—
TSA	256,325	342,472	1,624,275	1,400,438
病院寄附金 (40 周年事業基金を含む)	12,560,695	10,911,036	22,505,819	11,506,148
紫峰会基金	—	—	—	—
留学生後援会基金	—	—	—	—
附属駒場中・高 70 周年基金	—	—	—	—
修学支援事業基金 (今川 FUTURE 基金を含む)	—	—	—	—
合計	12,817,020	11,253,508	24,130,094	12,906,586

寄附目的	平成 28 年度※	平成 29 年度	平成 30 年度
創基 151 年筑波大学 50 周年記念基金	—	—	13,900,400
TSA	5,394,465	6,949,500	5,496,000
病院寄附金 (40 周年事業基金を含む)	19,099,165	38,482,592	15,344,500
紫峰会基金	113,416,016	39,569,000	36,835,650
留学生後援会基金	18,078,324	887,000	804,000
附属駒場中・高 70 周年基金	57,511,841	22,664,629	38,929,059
修学支援事業基金 (今川 FUTURE 基金を含む)	5,010,000	5,282,000	5,202,000
合計	218,509,811	113,834,721	116,511,609

※平成 28 年度寄附額には、紫峰会、留学生後援会からの移行資産を含む。